

10月2日(火)国際リニアコライダー計画の見直し案に関する検討委員会技術検証分科会配付資料 資料1-1(道園参考人資料)のP.51について、道園参考人より修正版の提出がございましたので再配付いたします。

「論点メモについての回答」 P.51修正後

【さらに確認すべき点】活断層や破砕帯など工事困難箇所遭遇した場合の対策と追加費用

見つかっている活断層が横切ることはなく、また破砕帯ができるだけ少ないサイトが選定されている。その経過は東北で検討された参考資料に詳細にまとめられている。ILC施設は全長20kmに及ぶ長大な線状構造物であるため、着工後に脆弱な地質部に遭遇した場合には、止水注入や地盤補強などの対策工事を臨機応変に行うことになる。トンネル工事費の算定では、このような不良地質部分が一定の割合で分布することも見込み計上されているが、想定を超えた追加コスト、契約方法については現在検討中である。